

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 清流の国ぎふ芸術祭開催事業費(トリエンナーレ)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局文化創造課 文化創造係 電話番号：058-272-1111 (内 2465)

E-mail: c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 32,100 千円 (前年度予算額：71,336 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	71,336	0	0	0	0	0	0	0	71,336
要求額	32,100	0	0	0	0	0	0	0	32,100
決定額	32,100	0	0	0	0	0	0	0	32,100

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

新たな才能の発掘と育成、アートに関わる人材の育成とネットワークづくり、新たな形のアートの鑑賞機会を提供するため、全国規模の企画公募展を開催する。

(2) 事業内容

令和5年度に第3回となる展覧会「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」を開催するため、作品募集に向けた準備、受付開始及び広報を実施する。

【概要】

◇トリエンナーレ方式(3年に1回開催)

※第1回は平成29年度、第2回は令和2年度に開催、第3回は令和5年度に開催予定。

◇「キューブの中に、決められたテーマを解釈・表現する」作品を国内外から募集(分野・技法・手法は問わない)

◇会場は岐阜県美術館、岐阜県図書館を予定。

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県の文化振興の主要プロジェクトとして実施するものであり、全額県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	32,100	実行委員会負担金
合計	32,100	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 事業主体及びその妥当性

本負担金を受けて「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 実行委員会」が事業を実施する。

将来的に、県内の幅広い層の参画を得ること、各種協賛金を受領することも想定して、実行委員会を継続し事業を実施する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
令和3年12月から「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」の作品募集を開始。併せて、国内外に公募周知を図るためPRイベント・公募説明会の開催、広報等を実施。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
応募総数	710件 (R元)	710件 (R元)	(R)	- 件 (R4)	710件 (R5)	- %

○指標を設定することができない場合の理由

-

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 - ・「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2020」を開催。展覧会周知のための広報、展覧会及び関連イベント（表彰式等）等を実施。
 - ・「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」開催に向けて、会期、作品規定等について企画委員会で検討を開始。

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 - ・「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2020」を開催し、7,759人（会期30日間、1日平均259人）が来館。
 - ・「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」開催に向けて各種検討を開始。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	県内の文化振興につながるため、事業の必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	第2回となる「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2020」は、応募総数 710 件、来館者数 7,759 人となった。新型コロナウイルス感染症の影響で第1回よりは減少（応募総数 790 件、来館者数 37,579 人）したが、入場者を事前予約等にする中で、多くの県民等が来館。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	第3回となる「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」開催に向け、外部の広報媒体の活用を通じ、効率的かつ積極的な広報を実施。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 来館者数増のため、効率的かつ効果的な広報の実施。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 有識者で構成されている「清流の国ぎふ芸術祭運営委員会」及び「企画委員会」において、第3回の具体的な開催概要（作品テーマ、作品規格等）について検討し、作品募集に向けた準備を行う。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	